

翻訳のための英語から 話すための英語に

生徒とのコミュニケーションを交えながら講演は進められた。



16歳の教科書in彦根東 大西泰斗先生 来校される



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

英語に対する情熱を見せられた大西先生



2月17日、本校特別講義室にて「16歳の教科書in彦根東」として東洋学園大学教授の大西泰斗先生が「学校英語を实用英語とするには？」と題して講演された。大西先生が本校へ講演に来られたのは今回が8回目です。6年目だそうだ。

講演の中で大西先生は「日本人は『発音が会話レベルでない』『文法が会話レベルでない』『表現理解が会話レベルでない』ことから翻訳のための英語しか使えていないので英語を話すことができない」と指摘され、その解決策を生徒とのコミュニケーションを交えながら伝えられた。また「どんなに賢い人でも英語を話せるようになるためには声に出して覚えていくことが必要だ」と英語を話すことができるようになる上で意識すべきことを話された。

今回の講演を終えて大西先生は「集中することは社会の基本である。講演で彦根東高校の生徒たちはなかなか集中を切らさなかった、それは素晴らしい資質だと思う。一方で講演の内容に疑問を感じることもあるはずだが、生徒からは質問があまり挙がらなかった。そのことに積極性が足りないと感じた」と生徒の印象を話された。今回で8回目の講演となることについて「最初の講演から6年経ったが、初めての日のことのように思い出せる。第1回目の講演で何かをつかんでくれた生徒がいたように感じ、自分も楽しめたことが何度も講演に来ることにつながったのだろう」と微笑まれた。また「英語は基本フォーマルではないが、仕事などで相手に誤解されないような言い方もある。場合に応じた丁寧な表現など英語のいろんなバリエーションを身に付けてほしい」と生徒に向けてメッセージを送られた。

プロフィール

- ・大西泰斗 先生
- ・東洋学園大学教授
- ・「ドラゴン桜公式副読本16歳の教科書」の著者の一人であり、本校では今回を含め8回講演を行われている。